



1人1台端末の活用

ICT教育担当 森田 裕介

文部科学省が推進している「GIGA スクール構想」の実現に向けて、全ての小中学生にタブレット型端末機が配付され、3年目になりました。子供たちはタブレット型端末機の操作に慣れ、日々の学習で活用できるようになってきています。

各学級では児童の発達段階に応じて、インターネットでの情報検索や写真、動画の撮影、発表用の資料作成、学びや振り返りの蓄積、自分の考えを電子黒板に提出する等、タブレット型端末機を学習に活用しています。

また、今年度は「みんなでチャレンジ3015」をタブレット型端末機にダウンロードすることで学校でも家庭でも簡単にチェックできるようにし、運動の習慣を身に着けられるよう取り組んでいます。

1人1台のタブレット型端末機を活用することで、子供たちの情報活用能力をはじめ、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された創造性を育む教育を進めることができます。

今後も教科書やノートを用いて自分の考えを書くことや文章を読み取ること等の指導と、タブレット型端末機を効果的に使用した活動を組み合わせ、児童の学力向上を目指していきます。



読書の秋



学校図書担当 武田 香奈

いよいよ秋本番。芸術の秋、スポーツの秋、そして読書の秋です。本校の児童は、毎日の読書タイムで集中して本を読んだり、学校司書やおはなしの会の方の読み聞かせを真剣に聞いたりするなど、本に親しんでいます。

本校は、この秋に新刊図書も入りました。さらにたくさんの本に親しんでほしいと思います。今後、図書委員による図書まつりを開催して、おすすめの本の紹介や図書クイズ、オリエンテーション等の楽しい企画も予定しています。

さて、10月27日(木)から11月9日(水)は、全国読書週間です。そもそも「読書週間」はいつから始まったのでしょうか。調べてみたところ、1974年から始まっているそうです。戦争が終わって間もないころに、当時の出版社や書店、図書館の方が新聞社やマスコミなどに呼び掛けて、第一回の「読書週間」が始まったそうです。読書週間は「読書の力で、日本を平和にしたい」「読書の素晴らしさを多くの人に知ってほしい」等の戦後の人々の思いが込められた週間なのだそうです。

読書することは、物事の見方を広げたり様々なことに興味をもつきっかけになったりします。また、「考える力」「感じる力」「表現する力」、そして豊かな感性も育みます。学校でも、読書する時間を大切にしていますが、この機会にぜひ、ご家庭でも継続して読書をする時間をもっていただきたいです。一人でじっくり読むことや親子での読書の時間をもつことで、より読書に親しみ、豊かな心を育むことにつながります。同じ本と一緒に読んで感想を伝え合ったり、子供の頃に読んだ本を紹介したりすることも、子供たちにとって本に親しむきっかけになると思います。忙しい毎日の中で、ちょっとした時間をつくり、みなさんで「読書の秋」を楽しんでみませんか。

～ 11月行事予定 ～



- 1日(月) 集金振替日 学習発表会予行
- 3日(水) 祝:文化の日
- 5日(土) 学習発表会及び130周年記念公演(午前のみ)
- 7日(月) 振替休業(学習発表会)
- 8日(火) クラブ活動⑩
- 9日(水) 研究会(下校11:45 給食あり)
- 14日(月) 研究会(下校1年14:45、2～6年13:15)
- 15日(火) 委員会活動⑪
- 17日(木) 教育相談日①
- 18日(金) 教育相談日②
- 22日(火) クラブ活動⑪

- 23日(水) 祝:勤労感謝の日
- 29日(火) 委員会活動⑫

【12月の主な行事予定】

- 1日(木) 集金振替日
- 14日(水) 個別懇談会(1日目)
- 15日(木) 個別懇談会(2日目)
- 16日(金) 個別懇談会(3日目)
- 22日(木) 地区児童会
- 23日(金) 第2学期終業式 給食最終日
- 24日(土) 冬季休業開始 ～1/9